財務省の人材育成と制度

入省後のキャリアパス

入省後からはじまる係員時代について ~スペシャリストまでの道のり~

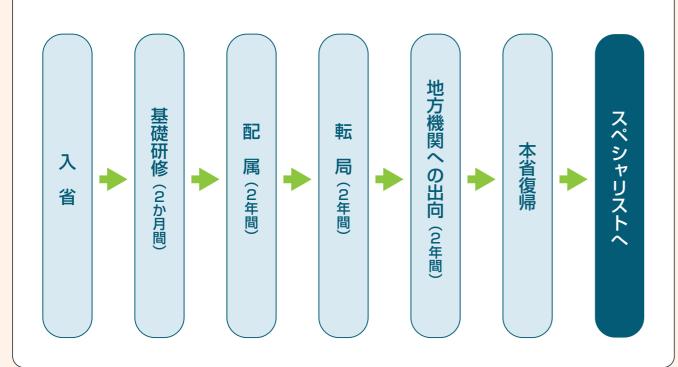
一般職試験を経て採用となった職員については、財務省の所掌する 幅広い行政分野のうち、特定分野の専門性を有するスペシャリストと しての活躍が期待されます。

採用後数年間は本省内部部局において様々な経験を積み、自分の 希望職種や適性を見つけていくこととなります。その後、地方支分部 局(財務局、税関)へ出向し現場勤務の経験を経て、本省に戻ってきた 段階で、希望や適性に基づき自身の専門分野が定まるのが一般的で

す。その後は、特定の部局で専門性を高めていくこととなります。

また、希望次第では、国際機関への派遣や業務上関連のある他省庁 への出向の機会等もあります。

さらに財務省においてはこれまでⅡ種、Ⅲ種職員の幹部登用を進め てきており、一般職試験からの採用者も、能力と実績次第では本省・ 地方支分部局の幹部職員として活躍することが期待されています。





※上記のキャリアパスはモデルケースとなります。



今までの行政官人生についての 振り返りと今後について

平成8年度の採用以降、財務本省や地方財務 局での勤務以外にも多くの経験の機会がありま した。大学院留学ではメーカーや金融業、起業家 の方々と共に研究活動に切磋琢磨したこと、日 本銀行では本支店を通じた全国の通貨の需給 調整に絶えず注視する日々を送ったこと、江東 区役所では初めて多くの部下を持つ管理職とし て地元商店街へのキャッシュレス機器の導入促 進策や地域ブランドの振興等に駆け回ったこと や緊張感溢れる区議会委員会での答弁など、そ の経験の全てが今の自分に確実に活かされてい ることを実感しています。

勿論、時には難しい問題に直面したこともあり ましたが、どの立場にあっても、より良い社会づ くりに貢献したいとの思いで、周囲の方々の支え もあって常に前を向いて楽しみながら取り組む ことができました。

今後とも、偶然に巡り合うこととなった人と人 との繋がりに感謝しながら、目の前にある課題 解決に向け、チーム一丸となって着実に前進させ ていきたいと考えています。

学生にむけてのメッセージ

財務省は、財政、税制、財政投融資や国有財産 等、幅広い業務を担っていますが、業務上取り扱 う課題はどれもスケールが大きく各人が責任を 持ってその一翼を担うことが期待されており、こ れは、財務省で働く醍醐味の一つといえます。

職員間においては、日々、制度や社会の本来の あるべき姿・未来を追い求め、議論を戦わせてお り、新人職員であっても自分の考えをしっかりと 持ち意見を主張することで、自己成長へと結び つけられる機会があります。

昨今は、社会経済環境の変化が激しいため、先 輩方が育んできた良き文化を大切に守りながら も、新しい時代の要請に、確実に迅速に適応して いく必要があります。このため、柔軟な発想や確 かな創造力を有する若者の皆さんへの期待は 今まで以上に高まってくるものと感じています。

是非、財務省の扉をたたき、財務省職員として の誇りを胸に、未来を担う子ども達が明るい夢 や希望を抱ける理想の社会の実現に向けて、共 に更なる一歩を踏み出していきましょう。

16





若手職員の業務紹介

一般職試験を経て入省した場合、入省後しばらくは、簡単な資料の作成や コピーなどの雑用ばかりを行う。このパンフレットを手に取った皆さんの中 には、そう思われている方もいらっしゃるかもしれません。しかしながら、例 えば、予算の担当の場合、若手職員でも、とある予算の担当者として、予算額 決定の前提となる情報の収集や予算額の資料などの作成を行うことになり ます。また、例えば、持ち前の語学力を更に磨き、若手職員のうちから、海外 の機関へ出向し、グローバルに活躍している職員もいます。

それだけに責任やブレッシャーも大きく、入省後は必要な知識の習得のための努力を続けていくことが必要となりますが、その分、自身の能力を高めることができるフィールドは、無数にあります。また、どの仕事をとっても、国を支える土台となる業務ばかりであり、国の最前線で働いていることを実感できます。

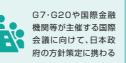
■ 例えば、若手職員のうちから、こんなことを行っています



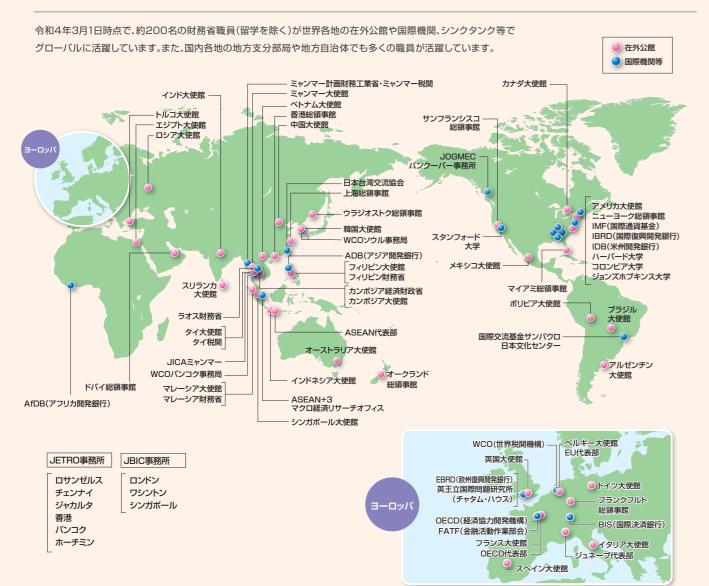




国債の発行にあたり、 証券会社等の債券市場 関係者へのヒアリング や、国債の入札手続き に係る業務に従事



財務省職員の活躍するフィールド





一国民であり担当官でもあること

現在の業務内容

私は、主計局文部科学係において、初等中等 教育等に関する予算を担当しています。年間の うち主な業務として、文部科学省から、関連施 策の予算の概算要求が提出されたのち、9月から12月にかけて、査定などの予算編成業務を行っています。また、予算は前年度に国会で成立したのち、予見できない事情等が生じた場合、当該年度中に予算を追加・変更する補正予算の編

成業務を行うこともあります。なお、予算は成立した後、使用(執行)されることとなりますが、一部の予算は支出にあたる協議として内容を確認したり、場合によっては、予算の執行状況を調査することで、予算が適切に執行されているかの確認業務も行っています。

これまで印象に残っている業務

主計局では係長と係員が、それぞれ別の予 算を分担して担当します。予算編成において は、査定の方向性は上司に相談しますが、事前 に事業概要から詳細な積算まで全て目を通 し、疑義等があれば自分で相手省に確認を行 う必要があります。自分の理解度や、上司への 説明の仕方が予算措置の配分を大きく左右す るため、責任感を持って勉強する必要がありま す。例えば、今年、担当した教科書関係予算に おいては、GIGAスクール構想による生徒1人 に1台の端末整備を踏まえた、令和6年度のデ ジタル教科書の本格導入に向けて、どのような 準備や整理が必要なのか議論を行い、今後の 教育におけるターニングポイントに携わること などができ、とても良い経験をすることができ ました。

国際機関への出向

現在の業務内容

私は現在、米国ワシントンD.C.にある国際通貨 基金(IMF)の日本理事室に出向しています。理事 室は、日々行われる理事会などを通じて日本の代 表として意見を述べる役割を担っています。私は アシスタントとして、理事室内の各種調整業務及 びIMFの年次総会の準備などを担当しています。 コロナ禍での出向となり、ほぼ全ての職員が在宅 で勤務している中で着任することに当初は不安 を感じましたが、自分を含め各職員の在宅勤務体 制が迅速に整えられており、IMFの環境対応力に とても驚きました。現在では、オフィスへ出勤する 回数も少し増えましたが、在宅勤務のスタッフ・オ フィスに出勤するスタッフが円滑にコミュニケー ションを取れるように、対面とオンライン形式を 併用したハイブリット形式で会議が行われるな ど、様々な工夫がされていると感じます。

海外赴任での気付きについて

国際機関には様々な国籍の方、バックグラウンドの方がおり、多くの気付きがありました。例えば、研修一つを取っても、様々な文化の方に配慮して研修動画が作成されており、今まで自分が

持っていた『当たり前』ということについて、考え 直す機会になりました。また、生活面において、初 めての海外生活ということに加え、新型コロナウ イルスの影響で隔離期間もあったため、生活の立ち上げに苦労しましたが、こうした特殊な環境下での海外赴任だからこそ視えてくることも多かったように感じています。この出向経験を通じて、少しでも視野を広げ、今後の業務に活かしていきたいと考えています。



財務省の研修制度

財務省に入省するためには、法律や経済学の知識などが不可欠、そのように思われている方も多くいらっしゃるのではないでしょうか。確かに、財務省職員は多種多様な業務に携わっており、そこで向き合う課題の解決には様々な知識や経験が必要となってきます。

しかし、誰しもが入省当初から、それらの課題に、一人でまたは確実に対応 できる力を持っているわけではありません。財務省においては、公務員・財務 省職員として必要な知識を習得するための新入省者研修、語学研修などの 業務を行う上での基礎力を高める研修、役職や政策分野別などそれぞれの 時勢・役割に応じた研修など、様々な研修を実施しており、実務で得る知識 や経験に加え、課題への対応力をより一層向上させるための仕組みがあり ます。

基礎研修について

新規採用された職員は、西ヶ原(東京都)の研修合同庁舎にて、全国の財務局に新規に採用された職員と共同生活を送りながら、約2か月間の合同研修(全寮制)を行います。この研修では、国家公務員としての基礎知識や財務省職員として必要な専門知識等を習得することだけでなく、共同生活を通じて研修生間の連帯感を培うとともに、集団内の個人の立場や役割を学んでいただきます。



各種研修・自己啓発について

職場に配属された後も、役職・業務に応じた研修や、自己啓発意欲を高め、業務に関連する知識や技能を習得するための研修等、 安心して業務に取り組めるよう、充実したサポート体制が整っています。

役職・業務に応じた研修

区 目

各職場において実務研修を実施。基本的な法律や事務の流れ等、実務上必要な基礎知識を補う。

係 長

政策に関する知識を深め専門性の向上を目的とした実務研修や、コミュニケーションスキル等 指導者としての能力を高める研修を実施。

課長補佐

マネジメント等管理職員に求められる能力及び資質を高める研修を実施。

これらのほか、渉外事務に従事する職員に、個人の会話能力に応じたレベル別の語学研修や英文によるビジネス文章の書き方を習得するための語学研修等を実施。

自己啓発

職員の能力開発と業務遂行能力の一層の向上を目的として、学習意欲のある職員に、 ファイナンシャル・プランニング技能検定や簿記検定等、各資格試験等の受験をサポートする研修を実施。(通信研修)

基礎研修を 受講して

基礎研修では、財務省の職員として業務を行ううえで必要な専門的知識はもちろん、ビジネスマナーやメンタルヘルス、国家公務員の倫理など、社会人・公務員として働くための基礎となる講義もあります。また、ロールプレイングやグループワーク形式での実践的な講習も行われます。

私が基礎研修を受講した際は、約2か月間、全国各地の財務専門官採用者と研修所での合宿形式の研修を行いました。長い共同生活は初めての経験でしたが、財務省本省の同期だけでなく、一緒に研修を受講した各財務局の同期ともすぐに打ち解けることができましたし、また、施設も整っており合宿を送るうえでも、快適に過ごすことができました。

私は現在、採用から4年目となりましたが、各財務局から本省に出向してくる同期もおり、仕事上は勿論のこと、終業後のプライベートな時間でも交流があるなど、研修から時間が経った今でも、同期は大切な存在です。

また、基礎研修が終わって職場に配属された後



も、携わる業務に応じて多くの研修が用意されており、実際に私も毎年様々な研修を受講しています。財務省には専門的な業務も多いですが、 基礎研修をはじめとした充実した研修により、 日々、知識の理解を深めることができています。 (注:新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度、3年度については、研修所における合宿形式の研修ではなく、各職場または自宅からのオンライン形式で実施。)

語学研修を受講して



採用前から「いつかは国際的な仕事や海外勤務にも挑戦してみたい」と考えており、その将来に向けて、英語力をもっと高めたいと思い語学研修を受講しました。

財務省ではビジネス英会話をはじめ、様々な 語学研修が用意されていますが、その中で、私 はライティングの研修を受講し、主に英語のビ ジネスメールの書き方を学びました。現在担当 している理財局の業務においては、海外当局や 国際機関とメールのやりとりをする機会も多 いのですが、例えば、最近増加している海外と のオンライン会議の際のアポイントの取り方や 日程調整で使える英語表現を覚えることがで きたなど、実践的な英語を身に付けることがで きました。このように研修で得たライティング の知識を日々の業務に活かすことができてい ることは、業務へのモチベーションアップに確 実に繋がっています。また、研修を受講し、業務 の幅を広げるために語学が重要であることを 改めて実感し、今後も積極的に研修制度を活用 しながら語学等の勉強を続けていきたいと考 えています。

このように、入省後も自分の目標に合わせてスキルアップできる環境が整っている点は、財務省の魅力の一つだと思いますので、皆様にもぜひ活用していただきたいと思います。

ワークライフバランス

財務省における女性職員の割合は増加してきており、今後は、その活躍を図 るための積極的な対応が求められます。また、こうした女性職員の活躍の視点 に加え、優秀な人材の確保、心身の健康の維持、広い視野に立った政策立案、

次世代の社会を担う子どもの育成環境の整備を可能にするためには、男女を 問わず職員全体について、仕事の質と能率性の向上、仕事と生活の調和(ワー クライフバランス)を確保できる働き方を実現していく必要があります。

育児関係

妊娠~出産まで

- 妊娠中: 通勤ラッシュを避けて登庁できる**通勤緩和・業務軽減等、**妊娠中の女性職員の負担を減らす制度があります。
- 出産時:産前休暇(産前6週間前)、産後休暇(出産の翌日から8週間)が与えられます。
- 出産後:子どもが3歳に達するまでの間、育児休業を取得できます。



男性職員も育児関係の 休暇が取得可能

妻の出産に付添うための「配偶者出産休暇」や、妻の産前産後休暇期間中に

「育児参加のための休暇」を取得することができます。また、育児休業を取得する男性職員もいます。

仕事と育児を両立するため、勤務時間を短縮できる制度があります。(※男女ともに取得可能)

- 育児短時間勤務:子どもが小学校に入学するまで、勤務時間を短縮できる制度
- 育 児 時 間:子どもが小学校に入学するまで、1日につき2時間以内で勤務しないことを認める制度



支援制度も充実

その他の

上記以外にも保育時間(子どもが1歳になるまで授乳や託児所等への送迎のため与えられる休暇)や、 子の看護休暇があります。

復職後の勤務時間の例/大臣官房秘書課 Aさんの場合

9:30	12:00	12:30		15:45	17:45
登 庁 勤 務	休憩時間の 短縮**	勤	373	退 育児	時間

※休憩時間の短縮 … 妊娠中・子どもが小学校に入学するまでの間や小学生の子どもの送り迎え・家族の介護をする場合、休憩時間を短縮することを認める制度。

介護関係

配偶者、父母、子、祖父母、孫、兄弟姉妹等の介護を行う職員が取得可能な制度があります。

- 短期介護休暇: 年5日(要介護者が2人以上の場合は年10日)
- 介 護 休 暇: 通算して6か月の期間内において、必要と認められる期間
- 介 護 時 間: 連続する3年の期間内において1日につき2時間以内

その他

- 配偶者同行休業(外国で勤務等をする配偶者と生活をともにするための休業制度)
- 年次休暇、夏季休暇、結婚休暇、忌引休暇 等

時間と場所にとらわれない働き方 ※一定の条件を満たすことにより、以下の制度を利用できます。

○ テレワーク(在宅勤務) ○ フレックスタイム制(職員が自身の勤務時間を割り振ることができる制度)



テレワーク導入後の変化

テレワークが業務スタイルの選択肢として加 わってから、これまでより自由な働き方が可能 になりました。自宅に居ながら仕事ができるた め、休憩時間の合間で家事を行ったり、自宅近 くのお気に入りの飲食店に立ち寄りランチを 取ったりすることも可能となりました。加えて、

通勤に要していた時間が必要なくなったため、 起床後や業務後の自由な時間も増え、趣味に十 分な時間を充てられるようになったことが何よ り嬉しいです(笑)。ほかにも、休日と祝日の間に 営業日がある場合などは、実家に帰省してテレ ワークを活用される方もいらっしゃいます。

業務面について、1人の環境で集中して仕事 を行えるため、まず資料作成などはむしろオ フィスよりも効率よく行うことができる場合も あります。また、テレワークの本格的な導入前 は、上司や同僚たちとコミュニケーションが取 りづらくなるのではないかとの懸念もありまし たが、Microsoft Teams等のオンラインの ツールを活用することで滞りなくコミュニケー ションが取れています。なお、最近では、サテラ イトオフィスを試行するなど、テレワーク環境 の充実を図るための取り組みもなされており、 より「自由な働き方」の選択肢が広がっていくも のと思います。

これからも、積極的にテレワークを活用し、 ワークライフバランスの充実に努めていきたい

育児休業を取得して 得られたものや良かったこと

私たちは、同じ財務省職員として結婚し、子育 てをしていますが、仕事をしながらの子育てだ と平日にどうしても子どもと触れ合う時間が限 られてしまいます。このため、休日に子どもとた くさん遊ぼうと思い抱っこをしたことがあった のですが、泣かれてしまい、結局は妻があやすこ とがあったなど、育児休業前は、逆に妻の仕事 を増やしているという感じがしていました。

男性も育児休業を取得することで、子どもと の時間が非常に増え、子どもも私も慣れること によってたくさん触れ合うことができ、子ども のちょっとした成長に気づくこともできるよう になりました。また、妻にとっても、育児の負担 が軽減されることになり、夫婦とも精神的にも 身体的にも大変助かりました。

会計センター管理運用部

岩崎健一 [平成22年入省]

会計事務専門官

夫婦で育児休業を 利用した感想

育児"休業"として仕事は休みとなりますが、 育児は決して休める訳ではなく、逆に、小さな子 どもの様子を見張っていなければならないた め、親としては、常に気を張っている状態が続き ます。この状態を一人で背負うのはとてもプ レッシャーがあり、不安もあります。この点、夫

山本(岩崎)あすか [平成24年入省]

YAMAMOTO Asuka

婦で育児休業を取得し、お互いに頼り合いなが ら、子どもと過ごせた時間は、かけがえのない ものとなりました。

良い仕事をするには良いチームワークが必要 だと思いますが、子育てにおいても夫婦の良い チームワークが必要だと改めて感じました。



省内保育所の設置

財務省でも女性職員の割合が増 えており、育児と仕事の両立支援の 重要性が一層増している中、多様な 人材の活躍とワークライフバラン ス推進の取り組みの一環として、財 務省本省庁舎1階のスペースを活用 して保育所を設置し、令和2年4月 に開所しました。

また、省内保育所の設置に限ら ず、女性職員のニーズを踏まえて女 子・多目的トイレを増設する等、働 きやすい職場環境の整備を進めて います。